

7. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、29 コースの公開研修を計画しています。以下は申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QR コード※または下記 URL から当社ホームページをご覧ください。

なお、当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福井県以外の地域からの受講申込みをお断りしています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

 <http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>

※QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください



敦賀総合研修センター

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
原子炉施設 廃止措置 コース※	廃止措置の概要や法制度とともに、廃止措置の基礎となる放射能評価、廃棄物の処置・処分や解体撤去技術など、廃止措置の先行例を含め廃止措置全般について学びます。	8月 12,13日 (2日間)	7月2日
原子炉施設 廃止措置工事 学習コース※	原子力発電所構内において、廃止措置工事に初めて従事するうえで必要となる発電所ルールの概要、技量や手法、工事要領検討について講義と実習により学びます。	8月 17,18日 (1.5日間)	7月8日
安全文化 コース	原子力産業界が取り組んでいる安全確保を最優先とする安全文化の醸成について、企業倫理・技術者倫理や不祥事・トラブル事例などを題材として学びます。 原子力利用に携わるすべての組織の方はもちろんのこと、企業による不祥事やトラブル事例が後を絶たない昨今の国内外事情に鑑みて、一般の方への受講もお薦めします。	8月25日	7月16日
プラント シミュレータ コース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉（PWR）と沸騰水型軽水炉（BWR）を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。 2日間コースですが、1日単位での受講も可能です。	9月 9日（PWR編） 10日（BWR編）	7月30日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、これらのコースは当面の間、発電所見学を中止しております。
なお、今後の状況により、発電所見学が可能になりましたら、ホームページを随時更新してまいります。

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市杵見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（応募申込専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆井加田 博個展 存在を描く 6月29日（火）～7月4日（日）

当ギャラリーでは4回目の井加田 博 様による絵画作品展です。犬や猫、原画から学んだ花、人物などを緻密に描き込んだ作品19点を展示中です。



◆「わたしたちのデリースタイル No.22」－エコクラフト・ビーズ・レザー－

7月6日（火）～11日（日）最終日は16:00まで

ビーズ工房（代表：田中 喜美枝 様）の皆さまによるエコクラフト、ビーズ、レザーの作品展です。クラフトテープ、レザーを使ったバッグや小物、ビーズのピアスやネックレスなど200点を展示予定です。

◆日刊県民福井連載『福井こころ旅』絵とエッセイ 宗田 光一水彩画展

7月20日（火）～25日（日）

越前市地域おこし協力隊員で、画家・美術家の宗田 光一 様による水彩画展です。『福井こころ旅』として日刊県民福井新聞に連載された記事とともに、水彩画展のために制作された作品を含め30点を展示予定です。



◆フォトラブサークル写真展 8月3日（火）～8日（日・祝）最終日は16:00まで

2018年に発足したフォトラブサークル（代表：笠原 由和 様）の10名の皆さまによる写真展です。「みず」をテーマとした作品と自由作品を合わせた作品30点を展示予定です。

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。

 <http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html>



▲感染防止徹底宣言ステッカー

本資料の作成元・お問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所：敦賀市本町2-9-16



げんでん いんふおめーしょん 7月号

2021年7月1日

No.203

当社におきましては6月30日開催の定時株主総会および取締役会による選任ならびに

人事異動により 下記のとおりそれぞれ就任いたしました

つきましては 今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

敦賀事業本部長

敦賀事業本部 副事業本部長兼敦賀発電所長

敦賀事業本部 副事業本部長兼立地・地域共生部長

敦賀事業本部 敦賀建設準備事務所長

敦賀事業本部 敦賀総合研修センター所長

敦賀事業本部 美浜原子力緊急事態支援センター所長

もろお なおと
師尾 直登（新任）

坂佐井 豊

鈴木 浩

北川 陽一

一ツ矢 範生

白石 浩一



敦賀事業本部長
師尾 直登

なお 前任の敦賀事業本部長 前川芳土は退任いたしました これまで賜りましたご懸念に対しまして 心から御礼申し上げます

1. 敦賀発電所の状況（2021年7月1日現在）

プラント（炉型）	状況
1号機（沸騰水型） 	●2017年5月15日より廃止措置工事实施中 （廃止措置期間：24年） ○2015年4月 営業運転終了 ○第4回定期事業者検査中（2021年4月1日～7月下旬予定） ○補助ボイラーおよびコールドエバポレーター解体工事中（2021年2月22日～） ○タービン補機冷却系熱交換器他解体工事中（2021年2月22日～） 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機（加圧水型） 	電気出力 116.0 万 kW，1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922 億 9908.3 万 kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。

= 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について =

原子力規制委員会による審査は、敷地内破砕帯評価と地震動評価（地震の揺れ）の二つの論点について並行して進められています。

昨年2月の審査会合で、敷地内破砕帯評価に関して、発電所敷地北側にある断層（K断層）と2号機原子炉建屋直下にある破砕帯との関連性について当社から説明いたしました。当初審査資料に記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データである顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのことご指摘を受けました。

このご指摘に対しては、その後の審査会合において記載の変更に至った経緯や理由、資料作成業務の改善点などを説明した結果、適合性確認審査が継続されることとなり、また審査とは別に、原因分析の内容や業務の改善状況について、原因調査分析に係る検査（品質保証に係る検査）の中で確認していくこととなりました。現在、品質保証に係る検査において内容確認が進められており、今後、報告書として取りまとめてまいります。

敷地内破砕帯評価については、次回審査会合に向けた資料の説明を開始しており、また、地震動評価（地震の揺れ）については審査資料の準備を鋭意行っております。今後、準備が整い次第、適合性確認審査を再開したいと考えております。

当社は、引き続き、品質保証に係る検査ならびに適合性確認審査について、真摯に対応してまいります。

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況 (2021年7月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況 (2021年6月23日撮影)

3. 次世代層への教育支援活動

・福井県立大学への出前授業を実施

「出前授業」は、次世代層に環境や科学、エネルギーに興味を持ってもらうため、福井県内の小中学校を中心に当社社員が学校に出向いて授業を行う活動です。

今回、福井県立大学経済学部ゼミにご招待いただき、6月3日、初めて大学生の皆さんを対象に、エネルギーのベストミックス（電源構成）を考えてもらう出前授業を行いました。

授業では、当社から、温室効果ガス排出の実質ゼロを目指すカーボンニュートラル、安定供給や経済性といったエネルギー問題、原子力や再生可能エネルギーなどの特徴、電源構成の考え方を説明しました。その後、学生、当社社員が3班に分かれてグループワークを行い、2030年の電源構成について議論を交わし、各班でまとめたベストミックスについて発表しました。グループワークでは、理想論だけでなく、現実的な経済性や雇用問題などの観点も含めた経済学部らしい多角的な視点からの活発な議論が行われ、エネルギーについて考える良い機会になったようです。

当社はこれからも、次世代層に対するエネルギーや環境などに関する教育支援に取り組んでまいります。



当社 立地・地域共生部長の挨拶



将来の電源構成についての説明



グループワークの様子

4. 社会貢献活動

・敦賀市西浦地区海岸清掃に参加

6月6日、西浦地区（浦底・立石）の海岸などの清掃が実施され、当社から30名が参加しました。

参加した社員は、熱中症予防のための水分補給に注意しながら、海岸に流れ着いた流木、ペットボトルなどのゴミ拾いや現在休校中の西浦小中学校グラウンドの草刈りを行いました。

当社は、今後も、地域の活動に積極的に参加してまいります。



浦底地区清掃の様子



立石地区清掃の様子



西浦小中学校グラウンド草刈りの様子

5. コミュニケーション活動

(1) げんでんアドバイザー懇談会※を実施

げんでんアドバイザー懇談会※を、6月23日に福井地区、25日に敦賀地区において開催し、当社から、「放射線（能）について」、「原子力発電所の廃止措置と放射性廃棄物について」を説明しました。

「放射線（能）について」ではアドバイザーの皆さまに放射線測定器でサンプルの花崗岩や昆布の放射線量を計測していただき、「廃止措置と放射性廃棄物について」では放射性廃棄物の処分方法などについてご質問をいただきました。

今後も、懇談会や施設見学会を通じて、アドバイザーの皆さまとのコミュニケーションを深めるよう努めてまいります。



敦賀地区懇談会の様子
測定器で身近な物の放射線量を測定



福井地区懇談会の様子



※当社は、地域の皆さまとのコミュニケーション活動を通じ、その中でいただいた貴重なご意見を事業運営に生かしていく取組みを進めています。この取組みの一つとして、各種団体から選出していただいた方々による「げんでんアドバイザー懇談会」を実施しています。

(2) げんでんふれあいトークを実施

当社では、地域の皆さまとコミュニケーションを深めさせていただく場として、気軽にお話し合いのできる「げんでんふれあいトーク」を行っています。

6月は、越前市いきいきふれあいのつどいの“住みよいまち宮谷”さま、“味真野茶保存会”さまのお集まりにお伺いして、敦賀発電所の近況、安全対策、日本のエネルギー事情などについてご説明し、ご参加の皆さまからご意見、ご質問をいただきました。

「げんでんふれあいトーク」は、当社社員が皆さまのところにお伺いして、原子力発電に関することをわかりやすくお話しさせていただく活動です。自治会の会合、サークルの集まりなどに、ぜひお声かけください。



越前市いきいきふれあいのつどい 味真野茶保存会さま
立地・地域共生部長（味真野出身）が挨拶いたしました（写真：左）



ふれあいトークの様子
越前市いきいきふれあいのつどい
住みよいまち宮谷さま

「お時間は30分程度～」
●少人数の集まりにもお伺いします。
●テーマは、
・敦賀発電所はどこにあるの？
・地震や津波の安全対策は？
・もし事故が起きたら？ など
（その他、ご希望のテーマがありましたら、ご相談ください）

お問い合わせ
0770-25-5713
立地・地域共生部（担当：浜多、池田）

6. 主な報道発表 (2021年6月1日以降)



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

6月4日	敦賀発電所 原子力事業者防災業務計画修正に伴う関係自治体との協議の開始について 当社は、原子力災害対策特別措置法に基づき、敦賀発電所の原子力事業者防災業務計画について、毎年の見直し検討を行うとともに今年度の修正案を取りまとめ、関係自治体との協議を開始しましたので、お知らせいたします。
6月30日	当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について 当社は、6月29日、敦賀発電所に勤務する当社協力会社社員1名が、新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。当社としては、当該社員が6月25日まで敦賀発電所で勤務していた実績を踏まえ、当該社員が勤務を行っていた場所の消毒を実施しました。 当社は、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。